和納氏のこと

岩室村誌調査員
興農館高校　井上慶隆

謙信の書きあげ

米沢の上杉家に、天正五年（一五七七）十二月上杉謙信が部下の武将八十余人の名を書きあげた文書がのこっている。

天正五年といえば、彼の死の前年にあたる。宿敵武田信玄はすでに世になく、畿内を制圧していた織田信長とはこの年九月、加賀の名取川に戦って勝った。破竹の勢いの信長に与えた一撃は、天下統一への彼の雄志をこころよくくすぐったことであろう。部将の書きあげは、翌春に予定された上洛をめざす動員への心おぼえでもあったろうか。

ところで、この八十余人の部将のなかに、おなじみの北条丹後守や河田豊前守とならんで「和納伊豆守」がみえるのである。

一般に武士の姓は居住地による場合が多い。大江氏が北条（刈羽郡）に住めば北条氏となり、佐々木氏が加治（北蒲原郡）に住めば加治氏となる。当然この和納氏は和納に住み、和納城を本拠にしていたものと考えられる。和納城の位置は岩室駅のすぐ東側、いまは田圃となっている通称「たてのうち」を中心としたあたりであろう。

武士の城館

この頃は、まだ兵農分離もすすんでおらず、平時に武士の多くは、それぞれの居村で下人を使った農業経営に従事していた。いわば手作り地主である。したがって、その城や館もごく簡素で、そのかわり数は多い。岩室村でも、天神山城和納城のほか、原部落の小字「館」は慶安検地帳に「館の内」とあるから武士の館跡に間違いなく、周辺町村では、本町、米納津、鴻巣、佐渡山（吉田町）、巻、馬堀（巻町）などにあったことが、地名や遺跡から判明している。

これらは近くに適当な山があれば、天神山城のように居館の背後に堅固な山城を設けて非常の時にそなえるが、平野では○・五ないし一ヘクタールほどの屋敷地を堀でかこみ、内側に土塁をきずく程度のものが普通である。ただ和納城は「二之廻輪」が史料に見えることから、実城（本丸）の周囲にくるわを配した、やや規模の大きなものだったと想像される。

これら城館の武士たちは領地が入り組んでいるためたがいに対立関係をはらんでいたが、謙信の在世中は川中島に小田原攻めに、とにかく相たずさえて戦って来た。

御館の乱

ところが天正六年三月、謙信が死んで養子の景勝と景虎の間に争いがおきると、いままでの矛盾が一挙に爆発、武士たちは、おもいおもいにそのどちらかにつき、越後は動乱の巷となった。御館（おたて）の乱である。

この付近では籠（弥彦村）の黒滝城が景勝方の拠点で、鴻巣、原、巻などがこれに味方した。天神山城の小国氏は家中が二派にわかれて動揺したらしいが、結局これも景勝方となった。いっぽう景虎方には、三条城の神余氏を中心に、和納や佐渡山、本町などがついた。

『巻村史話』にのっている「ずっと昔、和納から巻へ攻めて来て、巻方でもこれを激撃、赤さび土手あたりでぶつかって戦争となり人死にも出た」という古老の話は、この頃の事実であろう。また原と和納が昔から仲が悪かったといわれるのも、敵味方にわかれて戦ったこの乱に原因があるのではあるまいか。

あちこちで小ぜりあいをくりかえしているうちに肝心の上越では、しだいに景勝方が優勢となり、御館（直江津）を脱出した景虎は鮫が尾城（新井市）に走ったが、はげしい追撃をうけて、ついに天正七年三月ここで自刃した。

和納氏の滅亡

勢いにのった景勝は翌天正八年春、自ら出馬して三条城を攻め、さらに上田衆の安部二介に兵をさずけて小国氏加勢のため天神山城に派遣した。上田衆というのは、景勝の出身地である上田（南魚沼）の地侍のことで、景勝の勝利をささえて来た精鋭である。

こうした手をうった上で景勝は、六月九日黒滝城の山岸氏に手紙をおくり、二介と令談合、和納へ及調儀、二之廻輪迄取破、巣城計成之引除之由簡要候、

と、二介と協力しての和納城攻撃を依頼した。安部二介は、七月十五日に栃尾への移動が命じられているから、この間に和納城が陥落したのであろう。

斎藤嘉吉氏の調査によると、本町に盆朔日（ぼんついたち）と節句の休みがないのは、この頃に城がおちたからだ、との言い伝えがあるという。七月七日には三条も落城している。七月上旬に三条、和納をはじめ本町、佐渡山など景虎方の諸城館が、しらみつぶしになったのであろう。

このあと和納の地は料所つまり景勝の直轄地となったが、天正十一年十月には天神山在番の上田衆清水内蔵助に、また佐渡山は、天正十三年八月木場（黒埼村）城将蓼沼藤七に、それぞれ与えられた。

こうして御館の乱は終った。戦いの日のつねとしてはじめからの敵よりも、敵にまわった味方がにくい。かって共に謙信配下として転戦した仲間であっただけに、和納氏に対する処分は苛酷をきわめ、一族は草の根わけても探し出されて殺されたであろう。人々は、この乱のことを口にするさえはばかり、やがて和納城がそこにあり、和納氏がそこに住んでいたということも記憶からうすれていった。今回の村誌調査でも、村内から和納氏についての史料は出て来ていない。

桃井親王の墓

それでは和納氏の痕跡は和納から全く消えてしまったのであろうか。

和納の楞厳寺にある桃井親王の墓が、私には、どうも和納氏の滅亡と関係があるように思えてならない。

桃井親王のことは、すでに宝暦六年（一七五六）の『越後名寄』に出ており、また寺伝もあるが、それらによると親王は、平安朝の村上天皇の皇子で天暦九年（九五五）都を忍び出て越後へ下り、応和三年ここでなくなられたのだという。

しかし皇室の系図にも該当する皇子は見当らず、その頃の一般情勢からいっても史実とは考え難い面があるように思われる。

ところで上杉時代の名族に桃井氏があり、御館の乱には信州飯山城将桃井義孝が景虎方についている。和納氏は、この桃井氏と何かのつながりがあったのではあるまいか。そして非業の最後をとげた和納氏の誰かを、村人達が世をはばかりつつ葬り、ゆかりの桃井の名を伝えているうちに、いつしか村上天皇の皇子桃井親王ということになったのではあるまいか。

楞厳寺は古い寺だから、和納氏や和納城と関係がなかったはずはない。私にはこの桃井親王の墓が、和納氏滅亡の悲劇を、それとなく今に伝えているように思われる。

桃井親王墓

岩室村の人口は わずかながら減少傾向

とくに若年層の減少が著しい

昭和45年度国勢調査結果

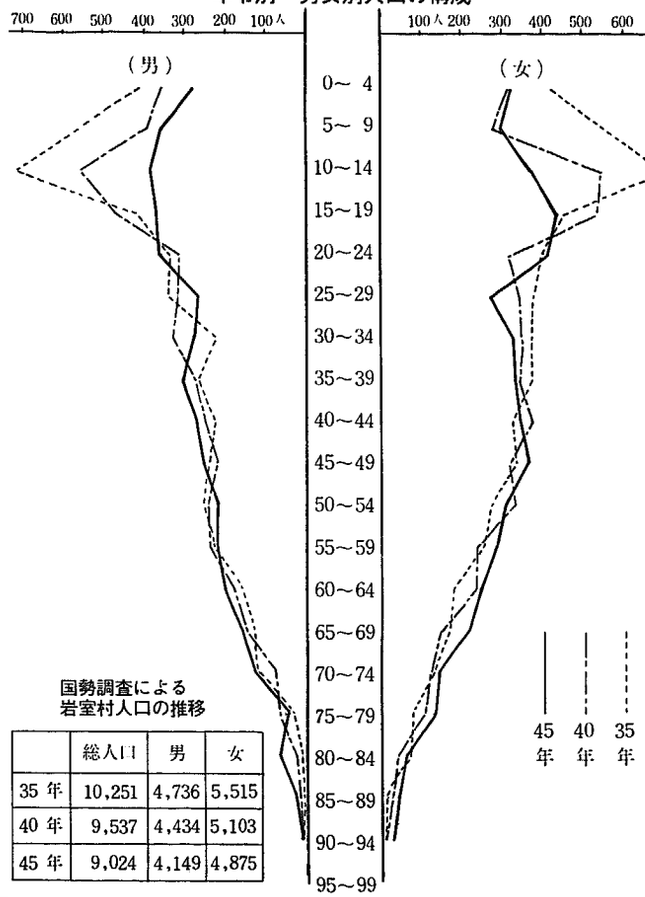
45年度国勢調査の基本集計結果が公表になりましたので，その一部を紹介いたします。

表の如く45年度の岩室村の人口は，総数で9,024人，うち男4,149人，女4,875人となっております。5年前の40年に比較しますと，総人口は513人減少し，減少率は5.4％になっております。さらにさかのぼって，35年と40年を比較しますと，減少数は714人，減少率は7％となっており，最近10ヶ年間における岩室村の人口は，少しづつ減っていることがうかがえます。

年令，男女別人口の構成も別表によっておわかりのように，5才～25才までが多くを占めています。しかし，これも40年35年に比較しますと，19才以下の人達の減少が著しくなっており，一方20才以上は大差がないか，むしろ年令が上にゆくにつれ少しづつ増えております。

このように岩室村も，村全体をみますと過疎化の傾向があらわれ，特に若年層の減少が著しく，僅かながら老令化が進んでいることがわかります。

年令別・男女別人口の構成



国勢調査による
岩室村人口の推移

	総人口	男	女
35 年	10,251	4,736	5,515
40 年	9,537	4,434	5,103
45 年	9,024	4,149	4,875

くらしと健康

受付　役場の企画課で毎日受付けています。

衣

冬の靴下はかかせないものです。古靴下の利用法をチョット！

1、これからは、雨、雪等で皮靴がぬれます。古靴下の中に灰をいっぱいにつめて、ぬれた靴の中に入れておくと乾き方が早くなります。

2、長い旅行ではきかえの靴が必要な時、男物の靴下に片方づつ入れ、旅行カバンの隅に入れるとかさばらずに便利です。

食

「高血圧症の食事」について

○腹八分目に食べる。
○塩分をひかえる。
○しげきの強いものはさける。
○植物性の油をとる。
動物性の脂はとらない。
○魚はできるだけ淡白なものを食べる。
○肉は脂の少ない、とり肉などにする。
○緑黄野菜、生野菜、果物は充分にとる。

住

これらのことを家族みんなで協力してやりましょう。

一年中のガラスのよごれを年末の大掃除の際にきれいにとっておきましょう。

付着物	よごれをとる方法
インキ	透明ガラスはクレンザーをつけ、すりガラスはシンナーを用いて拭く。
クレヨン	透明もすりガラスも濡れ布にクレンザーで。
油	すりガラスはベンジンが好適。透明はベンジン、中性洗剤、クレンザーのいずれも可。
マジックインキ	すりガラスの場合ベンジンでは落ちないから、シンナーで拭きとる。透明なら丹念に布で拭くととれる。
ルエペンナメキ	透明ガラスならカミソリの刃などで削り落とす。すりガラスは刃物ですけずり落とするか布にクレンザーをつけてこすりる。エナメルやコールタールの場合もおなじ。
色鉛筆	透明、すりガラスとも、クレンザーを濡れ布につけて拭きとればよい。
セロテープ	時間がたつととれにくくなるから、刃物ですぐとるとよい。

＜注意＞すりガラスはクレンザーを用いすぎると、透明ガラスのようになってしまうから注意すること。

健康管理

体重が健康のバロメーターであることは、皆さんよく御存知のことでしょう。

西洋では「ベルトが一インチ伸びると寿命が一年ちぢまる」日本では「肥満薄命」といわれておりますが中年期の太りすぎには注意しなければなりません。たまりすぎた脂肪は、中年以後の人にとっては〝重荷〟になるばかりか、大きくなった体を養うために内臓はつねに大きな負担をうけることになり寿命にも影響してくることになるのです。

又、反対にどんどんやせていく場合も、いろいろな病気がかくされていることが少なくありません。大人の体重が、一ヶ月のうちに二キロ以上も増減がある場合は赤信号です。ヘルスメーターは各家庭に一台購入し、月に一回は、全員で体重測定をし、健康管理の目やすとしていきましょう。